

# 第24回環境地質学シンポジウム

主催：地質汚染—医療地質—社会地質学会 準主催：Japan Branch of IUGS-GEM

共催：日本地質学会環境地質部会，日本鉱物科学会，日本情報地質学会，日本第四紀学会，内閣府認証（NPO）日本地質汚染審査機構，Japan chapter of IMGA

期日：2014年11月28日（金）・29日（土）

会場：日本大学文理学部8号館1階レクチャーホール

（最寄駅：京王線「下高井戸駅」もしくは「桜上水駅」 会場まで各駅から徒歩8分）

地図HP <http://www.chs.nihon-u.ac.jp/access/>



参加費（論文集込み）：社会地質学会員 5,000円 非会員 7,000円

\* 非会員で共催・協賛団体会員は非会員費用から一律1,000円引 学生 無料（論文集無し）

\*\* 今回からはCPDの取得が可能となりました

特別講演：国際協力機構 産業開発・公共政策部 資源・エネルギーグループ 齊藤 学 氏  
「国際協力機構の鉱業分野における取組みと南部アフリカにおける鉱山環境調査について」

開始時間	演題・演者
	28日
09:55	開会のあいさつ 駒井 武 社会地質学会会長
<b>地質災害とその対策</b>	
10:00	液状化発生地における地中地震動観測施設による観測 酒井 豊(千葉県地質環境研究室)・荻津 達・亀山 瞬・風岡 修・吉田 剛・加藤晶子・楠田 隆
10:15	地震動による間隙水圧変化 荻津 達(千葉県地質環境研究室)・酒井 豊・吉田 剛・亀山 瞬・風岡 修
10:30	地質調査の新たなツールとしてのACEライナーの有効性と課題 重野聖之(明治コンサルタント)・鈴木喜之・福岡 哲・風岡 修・亀山 瞬・森崎正昭・吉田 剛・香川 淳・酒井 豊・木村満男・小倉孝之
10:45	2011年東北地方太平洋沖地震時に発生した沈下を伴う液状化—流動化現象発生地の人工地質の特徴—東京湾岸埋立地千葉市磯辺地区での地質調査から— 風岡 修(千葉県地質環境研究室)・亀山 瞬・森崎正昭・重野聖之・鈴木喜之・香川 淳・吉田 剛・木村満男・酒井 豊・小倉孝之
11:00	液状化が発生した利根川・鬼怒川旧河道における物理探査 中笠貴元(国土地理院)・小荒井 衛・須貝俊彦
11:15	2014年8月20日未明の集中豪雨によって広島新市街地に誘発された土石流災害の対策計画に対する都市地質学からの提言 初倉克幹(減災地質コンサルタント)
11:30-11:50	総合討論
11:50-13:30	昼食
13:30-13:40	一日目発表のポスターコアタイム
<b>地質汚染・有害地質およびその対策・共存</b>	
13:45	ネパール・テライ低地の砒素汚染と周辺地質 大岡健三(産業環境管理協会)・駒井 武・成澤 昇・中村圭三・濱田浩美・松尾 宏・谷地 隆・松本 太
14:00	ネパール・テライ低地における砒素汚染の現地調査と対策 駒井 武(東北大学)・大岡健三・中村圭三・濱田浩美・成澤 昇・松尾 宏・谷地 隆・松本 太
<b>地下水管理・地質環境の形成過程およびその持続的利用</b>	
14:15	千葉県の地下水温—観測井における孔内地下水の深度方向温度分布— 古野邦雄(元千葉県地質環境研究室)・香川 淳・吉田 剛・風岡 修・酒井 豊・加藤晶子・楠田 隆
14:30	下総台地における豪雨・大雪時の地下水涵養 香川 淳(千葉県地質環境研究室)・古野邦雄
14:45	千葉県北西部の水文地質単元の対比 吉田 剛(千葉県地質環境研究室)・風岡 修・藤ヶ崎 稔・長根山皓介・坂田健太郎・楡井 久
15:00	関東地下水盆地と地方自治体による地盤沈下と地下水位の監視 古野邦雄(元千葉県地質環境研究室)・香川 淳・風岡 修・楠田 隆・楡井 久
15:15	石狩平野中南部地域における地表水の酸素安定同位体比分布 森野祐助(北海道立総合研究機構地質研究所)
15:30	シルト岩圧縮実験による上総層群の最大埋没深度の推定 ポスター 上原真一(東邦大学理学部)・田村幸枝・丸茂春菜・三橋俊介
*	訂正：釧路湿原東部地域の湧水・地下水の同位体地球化学的特徴 誌上发表 丸谷 薫(北海道立総合研究機構地質研究所)
15:35-15:55	総合討論
16:05-16:50	特別講演 国際協力機構 産業開発・公共政策部 資源・エネルギーG 齊藤 学 氏 「国際協力機構の鉱業分野における取組みと南部アフリカにおける 鉱山環境調査について」 社会地質学会総会
17:00-17:30	講演賞・奨励賞表彰
17:30-17:40	講演賞・奨励賞表彰
	29日
<b>地質汚染・有害地質およびその対策・共存</b>	
09:30	2013年10月～2014年10月までの放射性Csフクトン・プルーム(FukuToGun Plume)について 楡井 久(医療地質研究所)・木村和也・上砂正一・古野邦雄・楡山知代・吉田 剛・中臺大幾
09:45	山地地形と放射性物質による地質汚染の関係 木村和也(医療地質研究所)・楡井 久・中臺大幾・古野邦雄・楡山知代・吉田 剛
10:00	局所的な地形と放射性物質による地質汚染の関係—その3— 木村和也(医療地質研究所)・楡井 久・中臺大幾・古野邦雄・楡山知代・吉田 剛
10:15	放射性物質で汚染された福島浜通・阿武隈山系(帰還困難区域など)の復興への地質環境学からの提言 楡井 久(茨城大学名誉教授)
10:30	地液現象が発生した地質汚染浄化対策現場(Diphenylarsinic acid: DPAA)での噴砂に含まれたクロム(Cr)の分布 中臺大幾(北里大学)・楡井 久・楡山知代・木村和也
10:45	多変量解析を用いた2011年東北沖津波堆積物の重金属類の特性抽出 中村謙吾(東北大学)・桑谷 立・川辺能成・駒井 武
11:00	DNAPLsとLNAPLsとの複合汚染現場での地層汚染ガス濃度の3次元分布—10m四方の画一的な地中ガス調査では把握できなかった高濃度汚染例— 風岡 修(千葉県地質環境研究室)・吉田 剛・鈴木恵佐夫・藤ヶ崎 稔・高倉 歩
11:15	3N注入工法を使った原位置微生物による油含有土壌地下水の浄化の事例 打木弘一(基礎地盤コンサルタント)・西島正範・田村和嗣・原 学・野田典広
11:30	東京大空襲によるPbの土壌への付加に関する検討 高階義大(洛菱テクニカ)
11:45	汚染源探査の問題点 上砂正一(環境地質コンサルタント)
12:00-12:30	総合討論
12:30-13:30	昼食
13:30-13:45	二日目発表のポスターコアタイム
<b>古環境変遷と地質環境の形成過程</b>	
13:50	東北日本海沿岸の最終間氷期に形成した赤色土の分布状況 仲川隆夫(環境地質研究者)
14:05	河口湖の成立過程(その2) — 河口湖湖底ボーリングコアの碎屑物組成 野尻冨子(JOGMEC)・向井理史・興水達司・小坂共栄
14:20	河口湖の成立過程(その3) — 河口湖湖底ボーリングコアに認められる粗粒碎屑物の堆積環境と湖の成立過程 野尻冨子(JOGMEC)・向井理史・興水達司・小坂共栄
14:35	小国盆地は縄文時代草創期には湖だった 川辺孝幸(山形大学地域教育文化学部)・土井里子・小国高校2014年度「地域文化学」第1班
14:50	琵琶湖愛知川沖ボーリング試料から推定される過去約4.5万年間の湖水位変動 井内美郎(早稲田大学人間科学学術院)・山田和芳・里口保文・芳賀裕樹・林 竜馬
14:55-15:10	総合討論
<b>鉱業と環境</b>	
15:10	Present status of artisanal/small-scale gold mining in Myanmar Rouay LIMSUWAN (World Gem Exploration) and S. MURAO
15:25	Environmental impact from mining and countermeasures: a case study of Kiti Creek incident, Thailand Waiyapot WORAKANOK (DMR)・S. WONGSOMSAK・S. MURAO and Y. ISHIKAWA
15:40	廃止鉱山における重金属に富む坑廃水のキャッチングサイクリングによるファイトレメディエーション 大川佳子(愛媛大学大学院)・榎原正幸・迫田昌敏・世良耕一郎・佐野 栄
15:55	休廃止鉱山への坑内充填による鉱害防止技術開発の社会的意義と課題 池田真奈美(JOGMEC)・迫田昌敏
16:10-16:25	総合討論
<b>Geo-ethics (地球倫理)</b>	
16:25	江戸時代(1840年)に記録された新潟県佐渡島相川鉱山のじん肺 仲川隆夫(環境地質研究者)
16:40	鉱山の導入と地元のメリット — ベトナム・ボーキサイト開発地域の最新事情 — 中野亜里(大東文化大学)・村尾 智
16:55	水循環基本法と法の施行に不可欠な地質情報 高嶋 洋(野田市)
17:10	2014年広島土砂災害について 藤田 崇(関西地盤環境研究センター)
17:25	自然災害における地球科学情報の交流 西脇二一(奈良大学名誉教授)
17:40-17:55	総合討論
18:00-18:10	講演賞・奨励賞表彰・閉会

\* 表題・著者名は申し込み時のものです。事前の発表取り消しなどの情報は社会地質学会ホームページにてご確認ください。  
\*\* ポスター表記のない発表は口頭発表(持ち時間15分)です。ポスター発表は、その日のポスターコアタイムにポスターの説明と、各セッションの際に5分間スピーチがあります。  
\*\*\* 企業展示、本学会の書籍展示・注文などを予定しています。書籍は当日参加者に限り定価の半額にて注文いただけます。

詳細情報等はHP：<http://www.jspmug.org/> まで

その他問い合わせ先：〒261-0005 千葉県千葉市美浜区稲毛海岸3-5-1 千葉県環境研究センター 地質環境研究室気付 地質汚染-医療地質-社会地質学会 第24回環境地質学シンポジウム担当(043-243-0261)